

愛されなくても別に



許されたい、わたしがわたしで生きることが

南沙良 馬場ふみか

本田望結 基俊介 (IMP) 伊島空 池津祥子 河井青葉

監督：井樫彩

原作：武田綾乃『愛されなくても別に』（講談社文庫） 脚本：井樫彩 / イ・ナウオン

音楽：松本淳一 主題歌：hockrockb「プレゼント交換」(TOY'S FACTORY)

製作：石井紹良 / 本間憲 / 中西一雄 / 金延宏明 エグゼクティブプロデューサー：中村優子 / 金延宏明 企画・プロデュース：佐藤慎太郎 プロデューサー：菊地陽介

撮影：福本淳 (J.S.C.) 照明：太田博兵 録音：伊豆田廣明 編集：小林美優 美術：内田紫織 スタylist：本田匠 ヘアメイク：反町雄一

サウンドエフェクト：小島彩 (J.S.A.) スクリプター：尾和茜 助監督：堀崎電朝 制作担当：山崎崇嗣 宣伝：FINOR

企画・制作プロダクション：murmur 配給：カルチュア・パブリッシャーズ 製作：『愛されなくても別に』製作委員会

© 武田綾乃 / 講談社 © 2025 映画『愛されなくても別に』製作委員会

文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

www.aisare_betsuni.com

望まない愛からは逃げてもいい。今、リアルを生きる

彼女たちの、人生を賭けた青春逃走劇が始まる！

原作は2021年に第42回吉川英治文学新人賞を受賞した武田綾乃の同名小説。テレビアニメ化などで大ヒットした「響け！ ユーフォニアム」シリーズ作者による、新時代の青春ストーリーが、若干29歳の新锐監督・井樫彩の手で実写映画化された。『溶ける』(16)が第70回カンヌ国際映画祭シネフォンドーションに日本人最年少で正式出品され、続く『真っ赤な星』(18)も、レインダンス映画祭コンペ部門にこちらも長編映画としては日本人最年少で正式出品。本作は待望の長編新作映画となる。井樫は「苦しみや痛みは、大きさと測れるものではないし、誰かと比べるものではないと今はわかっている。「愛されなくてもいい」と言いながらも他者の手を取り、握ってしまうような…『心』は一辺倒ではない。愛も苦しみも、とてもグラデーションのあるものだと思うから。」と本作に自身の思いを重ねる。

毒親、虐待、
性暴力など
家族間で生じる
問題から社会の
ひずみに切り込み
つつ、その世界を
サバイブする
女性たちの
清々しさと、
「不幸中毒」
からの脱却

までを鮮やかに
描いた傑作。
だが彼女たちは
同時に、

不幸を盾に
他人と
関わろうと
しない自分の
弱さも知っている。

この映画は
そんな彼女たちを、
哀れみという
束縛から解放
するのだ。



「愛してる」——。その言葉はすべてを許す魔法か、それとも地獄か。彼女たちが選んだ未来とは？

宮田陽彩(みやた・ひいろ)は、「クソ」のような大学生活を送っていた。大学に通い、それ以外のほとんどの時間を浪費家の母に変わっての家事とコンビニでのアルバイトに費やし、学費と家計を稼ぐ日々。遊ぶ時間も、金もない。何かに期待して生きてきたことがない。親にも、友人にも…。そんなある日、同級生・江永雅(えなが・みやび)のひよんな噂を耳にする。「江永さんのお父さんって殺人犯なんだって」—— 他の誰かと普通の関係を築けないと思っていたふたりだったが、この出会いが人生を変えていく…。



7.4 fri ロードショー！